

- 問1 ある都市の統計において、年間の降水量が2400mmを超えており、特に12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて極端に多くなっている状況が確認されました。このような特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 冬に水分を蓄えた北西の季節風が山脈にぶつかるため
 2. 夏に湿った南東の季節風が直接吹き込むため
 3. 年間を通じて寒流の影響を強く受け、雲が発生しやすいため
 4. 梅雨から夏にかけての台風による影響が大きいため
- 問2 瀬戸内地域では、年間降水量が1400ミリ未満という乾燥した気候が見られます。このように降水量が少なく、晴天の日が多い気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 中国山地と四国山地の間に位置しているため、海からの水蒸気が入り込まず、常に乾燥した偏西風の影響を受けるため。
 2. 年間を通じて上昇気流が発生しにくい高気圧の通り道となっており、梅雨や台風の影響を全く受けないため。
 3. 四国山地によって北風が遮られることで、冬の時期に日本海側からの湿った空気が大量の雪を降らせるため。
 4. 夏は四国山地、冬は中国山地によって湿った季節風が遮られ、水分を失った空気が流れ込むため。
- 問3 日本列島には多くの火山が分布しており、特に東北地方から北海道にかけてその密度が高いという特徴があります。これらの火山が、災害をもたらす一方で人々の生活に与えている恩恵の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 火山がもたらす地熱によって周辺地域の気温を常に一定に保ち、冬の積雪を防ぐことで除雪作業を不要にしている。
 2. 地下のマグマの熱によって温められた地下水を温泉として観光資源に活用したり、高温の水蒸気を利用して発電を行ったりしている。
 3. 火口付近から噴き出す有毒な火山ガスを特殊な技術で回収し、都市ガスの主要な原料として全国の家庭に供給している。
 4. 火山から噴出する大量の火山灰を水田に混ぜることで、稲の成長を促進させ、東北・北海道地方を日本最大の穀倉地帯へと変えた。
- 問4 山地から平地に川が流れ出る場所に形成される扇状地において、その中央部が古くから果樹園として広く利用されてきた理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 地盤が柔らかく、果樹の根が地中深くの地下水脈まで容易に到達することができるため。
 2. 細かい泥や粘土が堆積してできており、地表に水が溜まりやすく水持ちが良いため。
 3. 標高が非常に低いため、周辺の河川から容易に農業用水を引き込むことができるため。
 4. 砂や礫が堆積してできており、水が地下に染み込みやすく水はけが良いため。
- 問5 日本の中部地方から関東地方にかけて広がる地質構造であるフォッサマグナの特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、この地形は日本列島を南北に分断するように位置しています。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 太平洋プレートが陸のプレートの下に沈み込むことで形成された、水深6000メートルを超える深い溝。
 2. 日本アルプスの東側に位置する、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な溝状の地形。
 3. ユーラシア大陸から吹き付ける季節風の影響を強く受ける、標高3000メートル級の山々が連なる山脈。
 4. 西日本を東西に貫き、九州から関東まで続く日本最大級の断層帯。
- 問6 山梨県笛吹市などの地形において、山地から盆地に向かって等高線が扇状に広がっている様子が確認できる地域があります。このような地形の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 川の氾濫によって運ばれた土砂が自然に積み上がってきた微高地であり、古くから集落や街道が発達している。
 2. 山地から流れ出た川の流速が落ちることで土砂が堆積して形成され、水はけが良いため果樹園などに利用される。
 3. 河川が周囲の土地を深く削り、残された平坦な面が階段状に広がる地形であり、住宅地や畑に利用される。
 4. 河口付近で川の流れが非常に緩やかになることで細かい砂や泥が堆積して形成され、水田に利用される。
- 問7 ある都市の統計において、1月の平均気温が5度付近、8月の平均気温が25度を超えており、降水量は9月に200ミリを超えるピークがある一方で冬場は著しく少なくなっています。このような気候の特徴が見られる地域において、冬の生活や産業で見られる光景として適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 道路の積雪を溶かすための消雪パイプから水が出る風景。
 2. 夏の水不足に備え、多くのため池が点在している風景。
 3. 冬の晴天を利用して、洗濯物や干し柿などを干す風景。
 4. 厳しい寒さに備え、建物の窓を二重にする風景。
- 問8 長野県松本市などに代表される、中央高地の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬は北西の季節風によって大量の雪が降る。
 2. 黒潮の影響により冬でも温暖であり、夏から秋にかけては台風や季節風の影響で降水量が非常に多い。
 3. 周囲を高い山脈に囲まれているため、湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少ない。
 4. 一年を通じて気温の変化が小さく、常に湿潤な空気が流れ込むため、月ごとの降水量の差がほとんどない。
- 問9 関東平野などの大規模な平野において、河川が山地から平地へ流れ出た直後の場所に、上流から運ばれた砂利や砂が扇状に積もってできる地形を「扇状地」と呼ぶ。この地形が形成される主な理由として適切な説明はどれか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 急斜面から平坦な土地へ出ることによって河川の流れが急に緩やかになり、土砂を運ぶ力が弱まるため。
 2. 河川が長い年月をかけて周辺の岩石を深く削り取り、平坦な土地を広げていくため。
 3. 地震などの地殻変動によって海底が持ち上がり、以前の河口付近が陸地化するため。
 4. 河川の下流部で水が逆流し、河口付近に溜まっていた泥が上流側へ押し流されるため
- 問10 自治体がハザードマップを作成し、住民に配布する主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 過去に発生した地震の正確な発生時刻や震源地を記録として保存するため
 2. 等高線を用いて土地の起伏を正確に描き、土地の価格を決定するため
 3. 災害による被害を予測し、住民が迅速かつ安全に避難できるようにするため
 4. 公共事業としてダムや堤防などの建設予定地を住民に知らせるため
- 問11 扇状地の土地利用について、扇の中央付近にあたる「扇央（せんおう）」では、河川の水が地下に潜り込んでしまう「伏流（ふくりゅう）」という現象が起こります。この性質が人々の生活や農業に与えた影響を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 地表に常に水が溢れているため、大規模な水田地帯が形成された。
 2. 水が全く存在しないため、現在でも人が住むことは不可能である。
 3. 地下水が浅い場所を通るため、井戸を掘らなくても容易に水が得られた。
 4. 地表を流れる水が乏しいため、かつては集落や水田が作られにくかった。
- 問12 和歌山県南部の紀伊半島沿岸部における、月間降水量が600mmに迫る月があるなど年間を通して極めて雨が多い気候について、その主な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 冷たい千島海流の影響を受け、夏でも気温が上がらず霧が発生しやすいため
 2. 冬の北西の季節風が山地を越えて湿った空気を運ぶため
 3. 周囲を高い山地に囲まれ、年間を通して湿った空気が流れ込みにくいため
 4. 夏の南東の季節風や台風の影響を強く受けるため